

令和 8 年度

台東区DX推進 重点取組事項

企画財政部 情報政策課 | 令和 8 年 5 月

はじめに

01 策定趣旨

持続可能な行政運営を推進していくためには、デジタル技術等を積極的かつ効果的に活用し、区民の利便性向上と業務効率化を図る必要がある。そのため、DX推進にかかる取組みをより実効的なものとするために策定。

02 位置づけ

「台東区DX推進計画」を上位計画とし、本計画期間中に策定・改訂された国や都の各種計画をはじめ、本区を取り巻く環境、進展するデジタル技術の変化に柔軟に対応するため、DX推進における重点的かつ短期的に取り組む事項として位置づけ。

03 取組期間

令和8年度の1か年（毎年度策定予定）

令和8年度 台東区DX重点取組事項

今後のDX推進に向け、令和8年度は以下の3つの取組を重点的に実施。

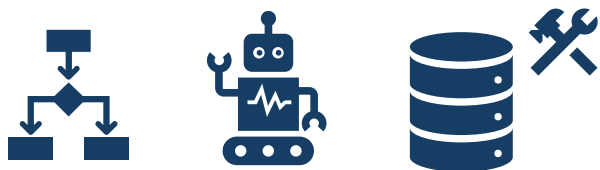
取組事項 1

BPRの推進

職員のBPR意識向上と業務効率化を更に進め、効率化で生まれた時間を行政サービス向上等に繋げる。

【具体的内容】

- BPRの意識・知識向上
- RPAを活用した自動化
- ノーコードツールの活用



取組事項 2

行政手続き等のオンライン化の推進

区民等が来庁することなく、時間や場所を選ばずに手続き等が行えるよう、行政手続き等のオンライン化を推進する。

【具体的内容】

- 行政手続き、イベント等の各種申請のオンライン化
- キャッシュレスによる利便性の向上
- オンライン化を阻む規定の見直し



取組事項 3

業務の情報共有、連絡調整の効率化

職員間や外部関係者との情報共有や連絡調整の効率化を図るため、全庁で導入する各種ツールの更なる活用を促進する。

【具体的内容】

- グループウェアの活用
- 会議等のオンライン化推進
- 外部とのファイル共有の効率化



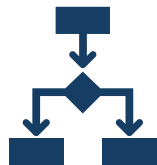
職員個々のBPRの意識・知識の向上を図ることで、定型的業務の自動化等を更に推進し、効率化により生まれた時間を行政サービスの向上に充てるとともに、職員の働き方改革を推進する。

具体的内容

最重要

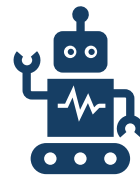
BPRの意識・知識向上

DX推進サポーター制度の有効活用等を通じて、各部署のBPRの意識・知識の向上を図り、相談会等の支援策を活用しながら、実践に移す。



定型的業務の自動化

DX推進部門で導入しているRPAツールの他、職員個々の端末で利用可能なRPAツールを併用し、更なる定型業務の自動化を進める。



ノーコードツールの活用

メンテナンスの属人化が懸念されるデータベースによる台帳管理については、メンテナンスが比較的容易なノーコードツールを活用する。



区民等が来庁することなく、時間や場所を選ばずに手続きが行えるよう、行政手続き等のオンライン化を更に推進する。

具体的内容

最重要

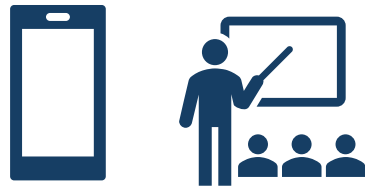
優先順位に基づいた行政手続きのオンライン化

取扱い件数が多いものや、導入の障壁が低いものから優先的に着手する。



申請受付のオンライン化

イベント申込みやアンケート回答等、行政手続き以外の業務についても、並行して促進する。



重要

キャッシュレス導入による利便性の向上

手数料等の支払が発生する手続きについては、キャッシュレス決済を組み合わせ、利便性の向上を図る。



アナログ規制の見直し

デジタル化を阻むアナログ規制について条文や解釈の見直しを行い、オンライン化に繋げる。



庁内職員間や外部関係者との情報共有や連絡調整の効率化を図るため、全庁で導入する各種ツールの更なる活用を促進する。

具体的内容

最重要

グループウェアの活用

グループウェアの予定表機能を活用したスケジュール管理・調整に加え、チャットツールを用いた連絡を積極的に行い、効率化を推進する。



会議等のオンライン化推進

会議や打合せの性質を鑑みた上で、外部関係者とはWeb会議システムを、庁内職員とはグループウェアを活用し、オンラインでの実施を進める。



外部関係者との ファイル共有の効率化

外部関係者との情報共有や編集、機密性の高い情報の授受については、ファイル共有サービスを活用し、双方の業務効率化とセキュリティの向上を図る。

